

波 濤

第 3 3 号
学 会 会
窓 員 記
大 同 政
送 川 委 井
放 神 奈 務 笠
行 集 編
発 任 責
会 員 数 819名(平成19年4月1日現在)
日 月 年 平 成 1 9 年 4 月 1 日
日 記 記

第十八回通常総会及び 講演会開催のお知らせ

神奈川同窓会第十八回通常総会及び講演会を開催致しますので、お知らせ致します。

【総会】

日 時 平成十九年六月三日(日)
午後一時
場 所 神奈川学習センター講義室

《議案》

- 一、平成十八年度活動報告
- 二、平成十八年度収支・決算報告
- 三、平成十八年度フオスター・プラン活動報告
- 四、平成十八年度フオスター・プラン収支・決算報告
- 五、平成十九年度活動計画
- 六、平成十九年度収支・予算
- 七、平成十九年度フオスター・プラン活動計画
- 八、平成十九年度フオスター・プラン収支・予算
- 九、会則一部改定
- 十、平成十九年度役員選任



講演会

日 時 総会終了後 二時三〇分〜四時

講 師 放送大学神奈川学習センター所長

濱 田 嘉 昭 教授

専攻分野 物理化学・薬学博士

演 題 今後の放送大学について

大学側は何を考えているのか

懇親会

講演会終了後懇親会を行います。
皆様の参加をお待ちしています。

場 所 弘明寺 玄や(予定)
参加費 三〇〇〇円程度

企画便り

江戸歴史探訪ウォーキング

徳川家菩提寺の壮大な伽藍を誇る「増上寺」を中心に、往時の史跡を訪ねながらウォーキングを楽しみます。今回は、歩く時間が1時間15分、歩く距離が約4・2キロと比較的軽いコースに致しました。左記の要領で企画致しましたので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

(幹事 企画担当)

木村勝紀・芝崎芳和)

一、開催日程 平成一九年六月二十三日
土曜日 雨天決行

二、集合場所 JR横浜駅東海道線上り
8番線ホーム最後部付近

三、集合時間 午前九時三〇分(時間厳守)

四、コース 概略

JR横浜駅↓品川駅乗り換え↓浜松町駅
北口↓旧芝離宮恩賜庭園↓芝大神宮↓
首尾稻荷神社↓浅岡飯炊きの井戸↓

増上寺(境内にて昼食) ↓

網町三井倶楽部↓善福寺↓地下鉄大江戸
線麻布十番駅↓汐留駅↓(汐留高層ビル
群を縫って) ↓JR新橋駅↓JR横浜駅↓
中締め解散↓希望者のみ反省懇親会

五、携帯品 お弁当、飲料

六、申込締切

平成一九年六月十六日(土)

七、申込先 副会長・企画担当 木村勝紀

〒二四五―〇〇〇六

横浜市泉区西が岡一―一九―二三
電話 〇四五(八―四―二九〇二)

E-mail

kimukatu@ee.caty-yokohama.ne.jp

八、緊急連絡 当日の緊急連絡先

〇九〇―八〇五三―二一九六

(木村の携帯電話)



明るく、楽しい生活を
送るよう努力しましょう

会長 笠井政記

笑顔で人に接することは、温かい人間関係を最大の条件であることは、よくご存じのことと思います。しかし、ちよつと油断しますと渋い顔になってしまいま

すから、気をつけなければいけません。心理学に「感情の導引性」という言葉があります。何か一つ不愉快なことがありますと、そのことと全く関係のない他のことまで、その不愉快さが移っていくことをいうのだそうです。

もし、職場で、何か面白くないことがあつて不機嫌な気持ちで帰宅しますと、その不機嫌さが家庭まで広がります。昼間、会社の仕事でクタクタに疲れての帰途、満員電車にもまれ、そのあげく隣の人に足でも踏まれたりもします。その上空腹、夜風は冷たく寒い、こんな時はことのほか腹立たしくなります。その時は玄関のベルを押しても、ドアの開け方さえ特に遅く感じるものです。そんな調子ですから、「お帰りなさい」と迎えられても返事は重い。返事が重いだけでなく、「何だ！この靴の脱ぎ方はもう少しちゃんと整頓したらどうだ！」「飯だ！何だ！まだ出来てないのか！」こうなりますと止まるところを知らず、矢継ぎ早に叱言が飛び出してくるものです。子供たちは「今晚のパパ、ものすごい低気圧！」そばにいては危険とばかりに、食事もソコソコに逃げ出す始末になります。このような状態を作りますと、どんなおいしいピラテキなどが出ていても、ちっとも美味しくありません。家族皆が「触らぬ神に祟り

なし」とばかり、だれも話しかけてくれません。いきおい一人ぼっち家庭孤児になつてしまいます。

また、朝の出かけに、家庭で嫌なことがあり不機嫌な気持ちで会社に出勤しますとその不機嫌さが職場に広がります。朝、上役が洗面で職場に入つてくると、そこにいる職員は、一斉に「部長は今日は機嫌が悪いぞ！」という、無言の警戒警報を誰からともなく発します。このような、上役のいる会社、職場に限つて、職場の人間関係はうまくいってないようです。従いまして、何となく陰気で暗い感じのするのが通例です。

思い当たることは、ございませんか？
このように、ちよつとした油断がマイナスの連鎖反応を起こして、その結果、家庭、職場にて孤独の悲哀を味わいました周りの人との人間関係を悪くしてしまいました。ですから、どのようなことがありましても、人に不機嫌・無愛想な顔を見せたり、言葉を吐くべきではありません。逆に、家庭生活が明るく楽しくければ、職場へ、その明るさ運んで来ることになり

な事件を起こらないようにしたいものです。
この六月に年一回の神奈川同窓会の総会がございます。同窓会を明るく楽しものにするためにもご協力をお願いいたします。

日光街道の初宿・千住と 芭蕉旅立ちの足跡をたどる

滝本 和子

JR横浜駅東海道線上りホームの端に集合、素晴らしい資料をいただきそれに目を通しながら南千住駅に降り立ちました。(会長さんのご挨拶)そして最初の見学場所は延命寺、小塚原刑場跡です。品川の鈴ヶ森刑場と並ぶ江戸の刑場だそうです。明治時代に廃止されたのですが、首切り地蔵が当時ここで命を落とした人の霊を静かに見守っているようでした。次が千住回向院。一六五七年振袖火事の死者を弔うため、宗派に関係なく、全ての人を回向するという目的で建立され、やがて刑死人も埋葬されたのだそうです。境内にはねずみ小僧次郎吉や高橋お伝や安政の大獄で処刑された吉田松陰らの墓があり狭く窮屈な場所ではありましたが心をこめて一礼しました。仲通り商店街をぶらぶらと通り抜け国道番号線、旧日光街道に合流、円通寺へ。道々にいちようの木が色づきはじめ銀杏がたわわに実っていました。

この土地ではいつせいに銀杏を取る日が決まっているようで、そのお知らせが道々に掲示されていました。円通寺には上野戦争で死した彰義隊

士らが葬られており、上野寛永寺の黒門が移設されていました。

さらに、てくてく日光街道を歩き、やつちや場跡地に建った蔵造りの「ギヤフリー千住宿歴史博物館」で昼食を摂りました。宿場町の面影を今にも伝える横山家の蔵を移築しているのだそうです。住宅に囲まれているのですが蔵の奥にこじんまりとした庭があり、のんびりとした気分になりました。本当に良いところを見つけてくださったと幹事さんに感謝です。

やつちや場とは青果市場のことです。市場の前にも芭蕉像がありました。さらに歩き源長寺では寿老人に逢い、宿場女郎の供養塔がある金蔵寺を覗き赤門寺の山門がある「勝専寺」に立ち寄りしました。ここでは毘沙門天に逢い、千住七福神の二人にお逢いしたわけです。北千住の宿場町通りを抜け横山家に到着、斜め向かいの「槍かけ団子」やが目に入りました。かつてこの店の前を通つた大名行列が一服した時、従者が槍を立てかけたという由来から名づけられたよう

です。
水戸黄門の助さん格さんも食べたといわれているこの団子を食べない手はないと買い求め、途中接骨医として有名な「名倉医院」を横目でみて荒川の土手でしばし休憩し、団子を食べながらのんびりとひと時を過ぎました。最後「放送大学足立学習センター」を孝敬訪問し、南千住から北千住の一駅の道のりでしたが私達の「旅」は終りになりました。東京の下町は良いじゃんという思いの充実した一日でした。

日光街道の初宿・千住と
芭蕉旅立ちの足跡をたどる

榎田政五郎

芭蕉旅立ちの足跡をたどるのタイトルに興味を引かれ、初参加させて頂きました。横浜駅から約一時間で目的の南千住駅に到着、まずは笠井会長からのご挨拶を頂いて早速出発する。駅を出ると目の前に延命寺の案内板があり昔の刑場「小塚原」跡の「首切り地蔵」に隣接して「回向院」がある。もともとは、本所「回向院」が明暦の大火(1655)の死者を弔うための浄土宗の寺で寛文七年(1667)刑場の小塚原に小塚が建てられた。ここには「ねずみ小僧次郎吉」「高橋お伝」や「吉田松陰」など歴史上の人物多数の墓がある。回向院をあとに、次の目的地へと日光街道(国道125号線)を千住大輔に向けて歩く。この日は、日曜日の午前中でもあり、人も車も少なく我々一行のんびりとした散策での旅でもある。途中「眞正寺」を経て「円通寺」へと急ぐ、円通寺には、荒川区指定文化財旧上野の黒門「が移築され、門柱には、今も生々しい弾痕があり幕末の戦を彷彿とさせる。黒門の裏手には、彰義隊の墓がひっそりと建てられている。日光街道をさらに進むみ素盞雄神社に着く頃には、正午も少し廻り、気温も上昇汗ばむ状態となり全員木陰で小休止を取る。

に着き、この場、深川から送ってきた親しい人たちと別れる。このときの句が「行く春や...」である。

我々一行は、国道四号線を北千住方向に歩くと、右手に足立市場が見えてくる。その前には、芭蕉の石像が建てられている。芭蕉像を見ながら旧日光街道へと進むと、別のグループの一行ともすれ違う。間もなく、蔵造りの「千住宿歴史プチテラス」に着く。この中庭で遅い昼食を摂るすでに時間は午後一時を廻り、一行は思い思いの弁当を広げ空腹と疲れを癒す。やっと元気を触り戻し、午後のコースを目指し出発。「千住やつちや場跡」→「源泉寺」→「森鷗外旧櫻井堂跡」(鷗外はこの住まいから千住陸軍病院へドイツ留学までの四年間、人力車で通う)→「勝専寺」から「宿場町通り」の商店街(北千住)を経て、



《隅田川 川岸の矢立初めの地》

夕日も西に傾く頃荒 工手に着く。さすがに一同疲れて座り込む。その時、どなたか差し入れの「かどやの檜かけだんご」で大いに英気を養う事ができた。帰りのコースは足立学習センターを表敬訪問し、今回の旅を楽しく締めくくることが出来た。

映画鑑賞会&お話し

「映画鑑賞会に参加して」

志賀 健三

心待ちにしていた二月十八日(日)上映作品はイタリアの「ひまわり」私がこの映画を観るのは初めてです。当時スペクタクル映画は料金を払ってみるものであり、その他はテレビでという感覚であったと記憶しています。午後一時より西浦さん(横浜映画研究会員)のお話を聞く。冒頭で「映画史上で最も大きな出来事(進化)は何だと思いますか」と質問された。

「?正解はサイレントからトーキーでした。さて講演の題目にそってヨーロッパ各国の代表的作品や俳優、監督そして各国の作品の特徴などなどの予備知識を得て、このあとに上映される映画に臨むことが出来ました。午後二時過ぎより上映開始。あらすじは第一次大戦のイタリア、妻ソフイア・ローレン演じるジョヴァンナは西部戦線で消息を絶った夫(マルチェロ・マストロヤンニ演じるアントニオ)を捜してロシアをさまよう。

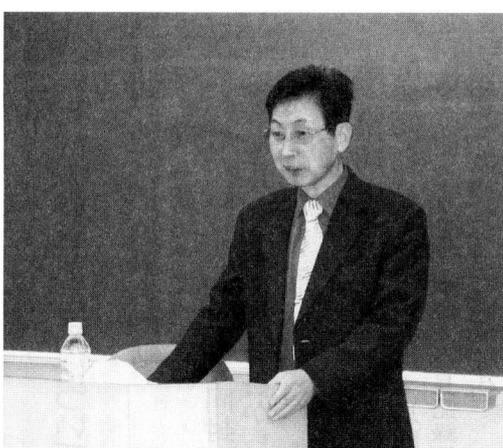
やつこのこと捜しあてた夫は現地の女性と結婚し娘までもうけて暮らしていた...。何事もなかったように人々が行き交うモスクワの雑踏。広大なヒマワリ畑。兵士の墓標群。シヨックのあまり荒れ狂うジョヴァンナ...。三人の表情がたまらなくて音楽がひときわ物悲しい。

今回は会場の都合で ややこじんまりした画像での上映となつてしまいが、制作された三〇年余過ぎてもお色あせない作品を味わうことが出来て嬉しく思いました。

終了後は玄や(居酒屋)で西浦さんを囲み映画の話題で話がつきず、お開きになったのは七時半頃だったでしょうか。西浦さんそして関係者の皆さんありがとうございました。

参考書

「ビデオで観たい名画200選」
2001 清流社
(著者 淀川長治、佐藤有一)
あらすじを一部抜粋



《講演中の西浦 久晏 氏》

フオスター・プラン活動報告

二〇〇七年春

一九九一年同窓会役員の方々が「社会への貢献」の一環としてフオスター・プラン活動に参画し、私達が今迄に支援したチャイルドは延べ十三人になりました。皆様からの援助金はチャイルドと彼らのコミュニティの保健・教育・技術開発など様々なプロジェクトの為に役立てられております。プラン・ジャパンはアフリカ、中南米、アジアの三十五カ国以上のチャイルドを支援し、同窓会のF・P実行委員会では皆様からの寄付金の管理、プラン・ジャパンとの連絡、PR活動、そして五人のチャイルドと交流もしています。写真と手紙、現地プランからの報告を簡単に紹介しましょう。

*ラビ・ナリゲ君十三才(インド)
ナマステ!(こんにちは!) お手紙と飛び出すカレンダールのカードを受け取り皆で大喜びしました。今は夏で気温は摂氏30度にもなります。遊びや水泳が大好きで勉強は社会が得意です。家の手伝いをして両親を助けています。

*ジエンメイ・ドアンさん十六才中国
夢は教師になる事で一生懸命勉強しています。いつも励ましてくれて嬉しいです。時間がありましたら私達の中学校にいらして下さい。歓迎いたします。

*フエイザン君十二才(パキスタン)
コミュニティのプラン職員より、貴方の手紙を受け取ったけれどフエイザン君が家を離れている為「一年の歩み」の報告が遅れている旨連絡あり。十二月の連絡でも、農村地域では仕事が安定せず親戚に身を寄せたり頻繁に住む所を変える事が多く、半年待つて確認出来ない時は残念ながら登録終了手続きをする、との報告がありました。

*ロジーナちゃん七才(バングラデシュ)
ロジーナちゃんが描いた花の絵と、現地職員より皆様の援助で巡回診療所の設立や道路の建設、水洗トイレの設置などコミュニティのプロジェクトを実施したとの報告。

*スバシユ君十二才(バングラデシュ)
現地職員より、母親に面接しスバシユ君の学校や家庭での生活の様子と、コミュニティで行われた貯金の習慣、職業訓練コースの開講、貧困家庭の健康管理、出生登録データ管理のトレーニングの事、そして私達の援助への感謝の報告がありました。今後とも皆様のご支援

よろしくお願い致します。
(フオスター・プラン実行委員 星)



ラビ君
インド

ジエンメイさん
中国

会計・事務局からのお願い

神奈川同窓会では、会員の皆様に、入会時に入会金5,000円、年度会費として1,000円を納入して戴いております。

「波濤」と同封の振込み用紙にて、平成19年度年会費をお振込み下さいますようお願い致します。

(過年度分、未納の方はご一緒にお振込みお願い致します。)

住所変更をされる方:

変更後の住所・電話番号等を振込み用紙に記入する際は、「住所変更」と朱書をお願い致します。

口座番号 00250-4-16183
事務局連絡先
〒221-0801
横浜市神奈川区神大寺2-4-29
千葉良一
電話&FAX 045-481-3169

訃報

次の方々の訃報が、ご家族からありました。
堀 次郎 様 松岡 和正 様
茲に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
合掌

スバシユ君
バングラデシュ



フエイザン君
パキスタン



ロジーナちゃん
バングラデシュ



フオスター・プラン
実行委員会の活動について

- 一、同窓会会員への募金活動
(年一回「波濤」に 振り込み用紙を同封)
- 二、学部生及び他の同窓会員からのご寄付もあります。
- 三、フオスター・チャイルド五名への資金援助と文通などによる交流。
- 四、広報活動 参考資料のパネル展示 (チャイルドの写真、手紙、成長記録等) 会報「波濤」での活動報告
- 五、講演会、勉強会の開催
- 六、チャイルドの母国大使館や関係機関との情報交換及びチャイルド訪問の検討
- 七、実行委員会の開催

同窓会ではF・P活動にお手伝い頂けるかたも募っています。その他、お問い合わせ等は、神奈川同窓会までお願い致します。